

令和元年6月26日

東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所長  
設楽 親 殿

柏崎刈羽原子力規制事務所  
統括原子力運転検査官 水野 大

安全文化・組織風土劣化防止に係る取組の総合評価について

平成30年4月1日から平成31年3月31日に行われた、柏崎刈羽原子力発電所における安全文化醸成活動については、以下のとおり評価しましたので通知します。

記

【総合所見】

安全文化、組織風土の劣化防止に係る取組状況については、平成29年度の取組要請事項に対し、改善に向けた取組がおおむね実施していることが確認できたことから、「計画に基づいた取組が行われ、改善傾向が見られる。」と評価する。

しかしながら、昨年度に引き続き、作業管理に関する不適合がある一定程度発生していることに加え、運転部門と保全部門や上長とのコミュニケーション不足等を原因のひとつとする不適合が少なからず発生していることを確認している。

また、安全文化・組織風土の劣化兆候については、全てのふるまい指標において、昨年度に引き続き単調増加傾向であり大きな変化兆候は見られないことから、「さらに傾向を見るため継続した監視を必要とする。」と評価する。

以上